

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着（5分）

- ① ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。
- ② 救助ロープをもやい結びで装着する。

【使用機材】各自通常使用中の上記装具、ロープ2m（人数分）

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（12分）

- ① かえる又結び ② 巻結び ③ アンカーベント
- ④ バックスプライス ⑤ アイスプライス ⑥ ショートスプライス

【使用機材】長さ1m中程度の太さのロープ2～3本（人数分）

(2) 破れ目の補修（10分）

網針と網糸を使い網地の破れ目（縦2目×横3目）を修理する。

【使用機材】網針、網糸、網地（人数分）

3. 漁具・漁労機械の操作

※ (1)、(2) についてはどちらかを選択する。

(1) ワーピングエンドの操作（5分）

ロープ50mをワーピングエンドで巻き上げる。この場合、巻揚げの反対側端に5～10Kg程度の錘を取り付けておく。

【使用機材】ロープ50m、ワーピングエンド（縦ローラー又は横ローラー）

(2) 水中集魚灯の操作（5分）

- ① 水中集魚灯を水面直下まで下ろし、点灯。
- ② コードを操作し、降下。指定された水深まで水中集魚灯を降ろす。
- ③ 水面直下まで上昇させ、消灯。
- ④ 集魚灯を収納する。

【使用機材】水中集魚灯（コードがリールに巻かれているウインチと一体のものでも、手作業でコードを捌くものでも良い）、集魚灯の操作盤

(3) ダビットの操作（10分）

ダビットを起立させる。

【使用機材】ダビットを設備した漁船

(4) パースワイヤーの繰り出し（10分）

パースウインチからパースワイヤーを繰り出し、ダビットブロックを介し、環の中に通す。

【使用機材】上記を設備した漁船